

「雨水貯留槽用貯留材」 製品分類別基準 (PCR番号:CN-01)

注)この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
1	前提条件	対象製品	定義	<p>雨水貯留槽用貯留材は、地下構造体として組上げることができるプラスチック製貯留材である。</p> <p>1 機能 貯留材に遮水シート及び透水シートを被覆することにより貯留槽を形成し、集中豪雨時の貯留槽内の一時滞留による流出抑制や、地下水涵養に効果がある。また、地上部は駐車場や公園等に有効利用できる。</p> <p>2 仕様 ① 高い空隙率 ② 地下空間を形成するのに十分な強度と耐久性 ③ 耐震性 ④ 優れた維持管理性</p> <p>3 対象ユーザー（産業用か一般個人用か） 産業用商品として使用。</p>
2			対象範囲	<p>雨水貯留浸透槽として機能を満たすために必須である以下の要素からなる構造体であり、貯水量200m³(10m×10m×2m)を確保する為に必要な貯水量1m³当たりの環境負荷を計上する。</p> <p>① 貯留材 ② 連結部材 ③ ボード類</p> <p>* シート類は含まない。</p>
3		対象LCA範囲	ライフサイクルステージ及びシステム境界	<p>1 ライフサイクルステージ 素材製造、製品製造、物流、廃棄・リサイクルのステージ。</p> <p>2 システム境界 上記第2項(対象範囲)で規定した物品のみを対象とする。</p>

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
4	収集対象データ (製品データシート記載内容)	製品情報 (製品そのものの構成要素情報)	製品材料 または 原料構成	<p>1 部品等A扱いの部材</p> <p>雨水貯留浸透槽としての機能を満たすために必須である貯留材を部品等Aとする。 加工負荷は実負荷計上とする。</p> <p>2 材料分類名</p> <p>①再生プラスチック:材質別 ②プラスチック:材質別 ③金属:材質別 ④コンクリート及びレジンコンクリート ⑤その他</p> <p>部品の素材は、MSDSの材料レベルまで遡る。</p> <p>3 リサイクル材の取り扱い</p> <p>(1) オープンリサイクル/リユースを含む場合は、ライフサイクル全体の環境負荷を以下の2区分で計上する。</p> <p>① 製品に直接関わる環境負荷を「直接影響分」として計上。</p> <p>② オープンリサイクル・リユースによって他製品へ影響する環境負荷を「間接影響分」として計上。 なお、控除対象が通常一般廃棄される場合は、プラスチック焼却の比率は58%とし、産業廃棄される場合は9%とする。残りは埋立処理されるものとする(プラスチック処理促進協会2006による)。一般廃棄と産業廃棄の区分が不明な場合には産業廃棄を控除対象とする。</p> <p>③ リサイクル材の回収輸送から製造サイト投入に至るまでの環境負荷をリサイクル材料製造として計上する。</p> <p>(2) 間接影響分の環境負荷量は、直接影響分と区別して当該製品の素材製造ステージに「リサイクル効果」として計上する。</p>

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
5		製造ステージ情報 (製造サイトの活動についての情報)	投入・排出物質および消費エネルギー	<p>1. 製造サイトに投入され消費/排出される物質、エネルギー、および工程間の輸送負荷のうちで標準として必ず計上するもの</p> <p>(1) 投入物質及びエネルギー</p> <p>① 電力</p> <p>② 燃料:種類別</p> <p>③ 水:種類別</p> <p>④ 消耗品</p> <p>(2) 排出物質</p> <p>① 水質圏排出物:公共用下水道への排出量。</p> <p>② 陸圏排出物:製品生産量の「0.1%以上」の排出物。排出量は、資源投入量と製品重量との差異を考慮し計上する。廃棄方法は、申請各社が申請時点で実施している代表的廃棄方法に基づき設定する。</p> <p>(3) 製造工程間輸送負荷 素材と中間製品の輸送は、実測で製造サイトデータとして計上する。</p> <p>(4) 海外輸送負荷 海外輸送が含まれている場合は、輸送距離、手段、積載効率すべて各社の実績に基づいて計上する。</p> <p>2 副産物・副資材 計上しない。 副産物: 製造工程においてその主な目的として製造される製品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物 副資材: 製造サイトで投入され、また廃棄されるが製品と共に出荷されない資材</p> <p>3 歩留まりの設定条件を規定する。 各社の実績に基づいて計上する。</p>

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
6		物流ステージ情報	製品の輸送条件	<p>完成品の輸送条件は下記の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 国内輸送部分の手段と標準距離・積載率 平均輸送距離を500km(東京～大阪間)とし、手段及び積載効率については各社の実績に基づいて決定する。 海外輸送部分の手段と標準距離・積載率 海外製造サイトから消費国(日本)への国内・国境間輸送手段、距離、及び積載率については各社の実績に基づいて決定する。 物流用 中間梱包資材の取り扱い 使用している場合は実績計上する。 <p>なお、ダンボールのリサイクル率データは、日本ダンボール工業会が整理・公表している値を業界標準値として採用する。なお、同公表値は年々更新されるため、本PCRではエコリーフ発効時点の最新版を採用するものとする。(2006年度実績では98.1%)</p>
7		使用ステージ情報	製品の使用条件	<ol style="list-style-type: none"> 製品の使用条件 据付工事及び製品使用による環境負荷は考慮しない。 消耗品と交換部品の取扱い 使用段階での消耗品及び交換部品は無とし、考慮しない。 梱包材の取扱い 使用段階で取り扱う梱包材は無とし、考慮しない。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
8		廃棄・リサイクルステータス情報	製品の廃棄・リサイクル条件	<p>廃棄・リサイクルの標準シナリオとその根拠</p> <p>1. 取扱いの前提（産業廃棄物扱いか、一般廃棄物扱いか） 産業廃棄物とし、平成12年5月31日法律第104号「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、産業廃棄物として100%埋立処理をするが、減容化による破碎処理は計上する。廃棄物の輸送は、4tトラック、輸送距離60km、積載効率62%とする。</p> <p>参考資料： 積載率：経済産業省告示第66号の別表第3 輸送距離：「プラスチック廃棄物の処理・処分に関するLCA調査研究報告書」2001年3月（社）プラスチック処理促進協会</p> <p>2. オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 ① 「間接影響」範囲とする工程 ② 「間接影響」範囲内の控除・負荷</p>
9	製品環境情報開示シート (PEIDS)	共通事項及びインベントリ分析	LCI 計算式	
10		インパクト評価	カテゴリの追加と削除	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資源, 鉱物資源の消費 ・温暖化, 酸性化
11	内訳データシート >製品データシート関連	データ加工	アロケーション	<p>1. 対象製品の製造工程データ 工程毎のデータを把握することが基本である。 配分をする場合には各工程のデータを重量あるいは経済価値等で対象製品当りに配分し、その根拠を明確にする。</p>

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
12		データ収集	収集範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 場所 (国内、国外、代表工場、…) データ実測地となるサイト(事業所, 工場)とする。直接、製品製造にかかわる範囲を対象とし、事務部門・研究部門などは対象としなくてもよい。同一製品で製造サイトが複数にわたる場合は、代表工場のデータを採用してもよい。 2. 期間 (年、季節、月、…) 季節変動が生じるデータは「年間平均値」を採用する。 3. 例外規定 新製品の場合、計画数値に基づく記録でも可とするが、平常時の実績データが揃い次第置換する。
13			カットオフルール	<p>JISQ14041に規定するカットオフルールの適用基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カットオフ対象とするもの <ul style="list-style-type: none"> ・製品重量に対して1%未満の組成物質。 ・製造ステージから排出される製品重量の0.1%未満の廃棄物。 2. その他カットオフを適用する場合は、以下の内容について明確にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・適用の根拠 ・基準値
14	内訳データシート >PEIDS 関連	データベース	共通原単位の選定	<p>代表的に使用する部材と「エコリーフ共通原単位」の対象関係</p> <p>「エコリーフ用LCI共通原単位リスト」を用いる。</p>
15			原単位の追加	なし。
16			特性化係数の追加	なし。
17	製品環境情報 (PEAD)	C セクション	「製品仕様」項目の規定	<p>製品 (処理サービスを含む) の特徴を現す、最低限の仕様項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貯水量 1 m³当たりの製品個数 2. 貯水量 1 m³当たりの重量 3. 耐荷重 4. 空隙率 5. 材質:再生材を用いる場合は回収方法も明記する。

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め内容
18		E セクション	記載内容の規定	<p>1 選択記載項目 必須項目として実施ガイドライン3. 2項で規定されている、「温暖化負荷」「酸性化負荷」「エネルギー消費量」を記載することとし、選択項目の7項目(ガイドライン)は記載自由とする。</p> <p>2 注記 PCR 共通として記載する注釈文を規定する。 「貯水量 200m³(10m×10m×2m)を確保するに必要な貯水量 1m³当たりの負荷を計上しています。」と記載。 評価対象製品の範囲が明確に分かるように写真を表示すること。 「本ラベルは雨水貯留槽を構成する貯留材、連結部材、ボード類のみを対象としており、シートは含んでおりません。」と記載。</p> <p>3 表現方法 各項目の表現方法を規定する。 (1) ステージ毎の温暖化負荷(CO₂換算)を棒グラフで表現する。 (2) オープンリサイクル/リユースを含む場合は ・ ステージ毎のリサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せず独立して、また点線で表示する。 ・リサイクル効果の内訳は欄外等に記載する。</p>
19		その他環境関連情報(選択記載事項)	記載内容の規定	<p>LCA に基づく情報ではないが、当該製品の環境特性に関わる情報(但し対象とする情報は第三者による事実確認が可能な情報に限られる)</p> <p>a) タイプ I および/またはタイプ III の環境ラベル b) ISO14001 認証の取得 c) 国または工業会等の認証・認定・表彰</p> <p>また、該当部位と対象物質名を明記する前提で、有害物質や環境配慮型素材の使用情報を記載することもできる。</p>

PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定)	2007/10/31
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

本 PCR の改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2007/10/31	01	制定
2011/2/1		更新

製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

<規定改定前のPCR項目>

<規定改定後のPCR項目>

No.	規定改定前のPCR項目		No.	規定改定後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				